

授業の具体的展開例

(本時のめあてを確認した後)

T では、グループで研究レポートを読み合う前に、どのようなアドバイスをすればいいか、考えておきましょう。そのために、レポートを書いたときに気を付けたことを思い出してみましょう。ノートを見直してみればいいですね。

C 伝えたいことを整理して、組み立てを考えました。
C 伝えたいことの中心がはっきり分かるように書きました。
C 二年生にも分かることばを使って書きました。

T そうですね。この三つがレポートを書くときに工夫したことですね。レポートを読むときには、この三つに気を付けて読むようにしましょう。他には、どのようなことをアドバイスしたらいいでしょう。

C 読みやすい字で書いているか見てあげます。
C 絵や図などは、見やすいか見てあげます。
C ゆっくり、丁寧に話せているか、聞いてあげます。

T そうですね。話し方についても、アドバイスしてあげるといいですね。
では、レポートを交換して読み合います。読み終わったら、グループの話し合いを始めましょう。進め方は、司会の人に任せますので、よろしくお願ひします。

(グループの活動開始)

3年生の2学期にもなれば、グループ活動の進め方を児童に任せていくこともできる。そのことで、主体的に学ぶ力を育てたい。

教師から指示したり、説明したりしてもよいが、児童に考えさせることで、学習活動のねらいを意識させるようにする。

相互評価する観点を明確にするために、書いたときの留意点を思い起こさせる。

板書例

- 進め方**
- ① レポートを読み合う。
↓ チェックシートを書く。
 - ② 話し合う。
↓ アドバイス
 - ③ 自分のレポートをなおす。
 - ④ 発表の仕方を考える。

グループでリハーサルしてみよう。

○○○ 中心がはっきりしているか。
わかりやすい組み立てか。
二年生に分かることばか。

アドバイスポイント

レポートを読み合ってから、
工夫することばを考えよう。

「活用」の力を育てるポイント

友だちのレポートを読んで評価することで、レポートの書き方や工夫の仕方をはっきり意識することができる。内容だけでなく、レポートの特質や書き方を理解することで、他の教科にも活用できる力を育てたい。

本時の流れへ

単元の流れへ

評価問題

HOME